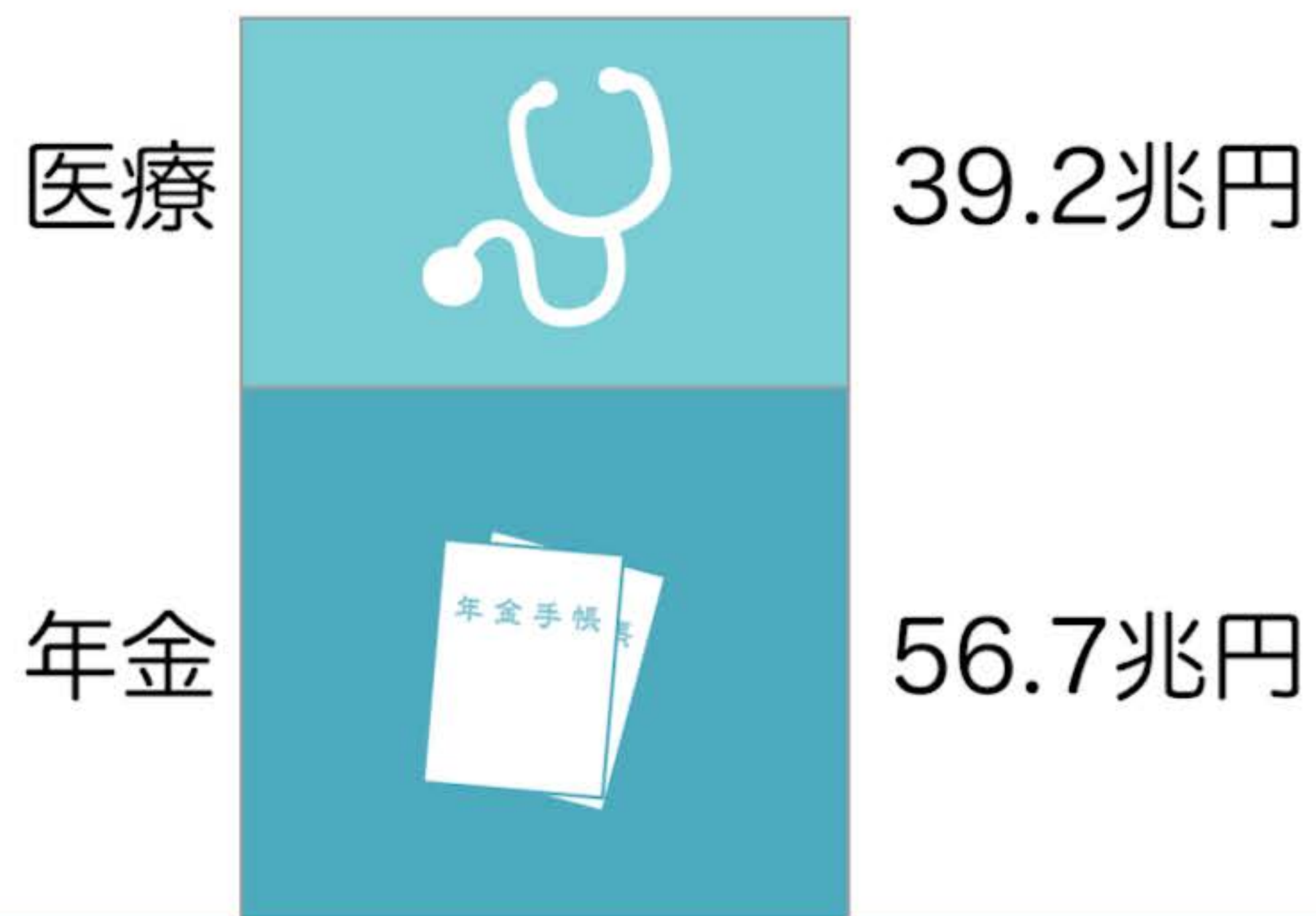


今後、社会保障の費用は、
どうなっていく？

2018年度
日本の社会保障給付費 **121.3兆円**

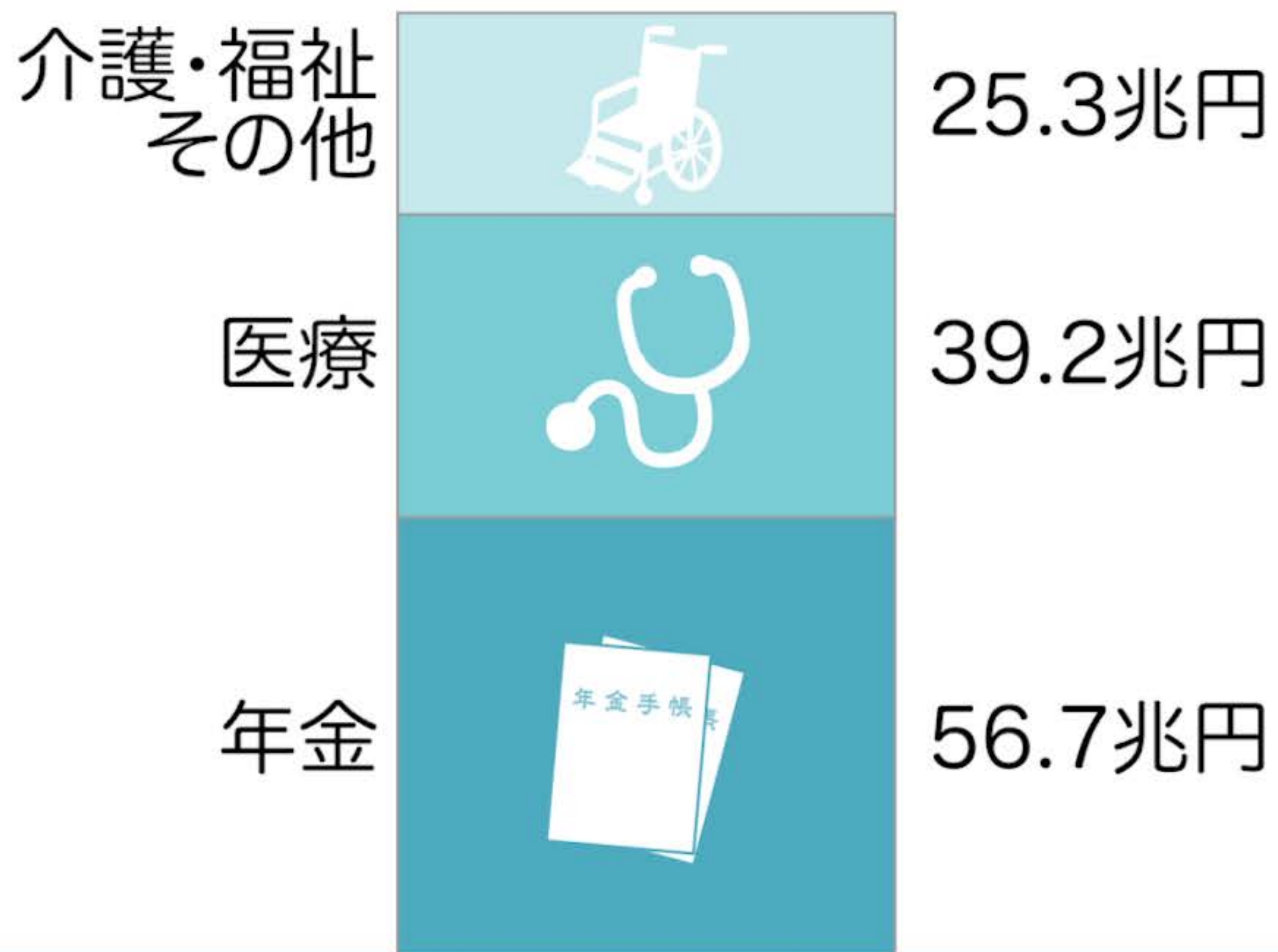
2018年度、日本の社会保障給付費は121.3兆円と見込まれており、

2018年度
日本の社会保障給付費 **121.3兆円**

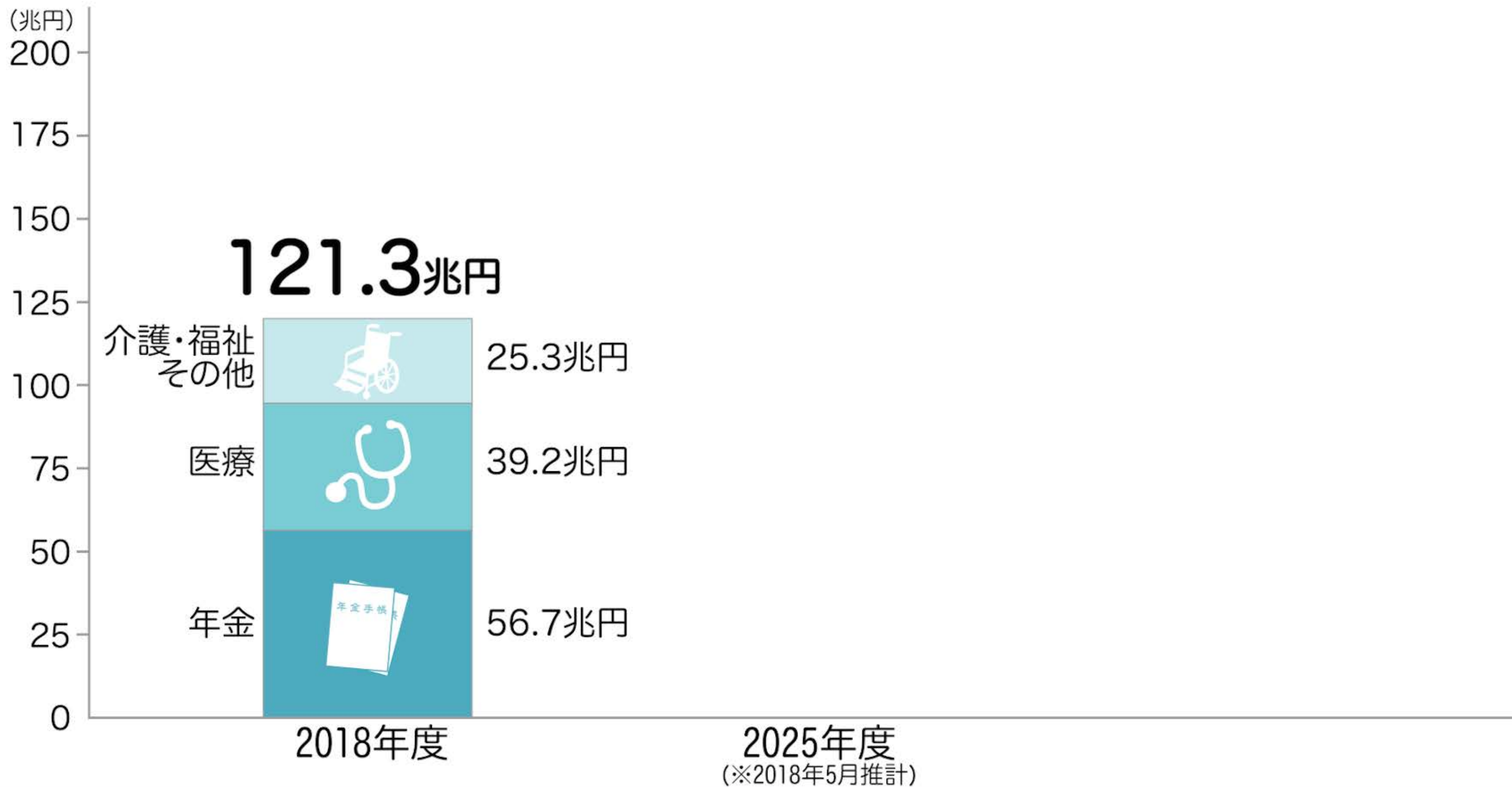


その内訳は年金56.7兆円、医療39.2兆円、

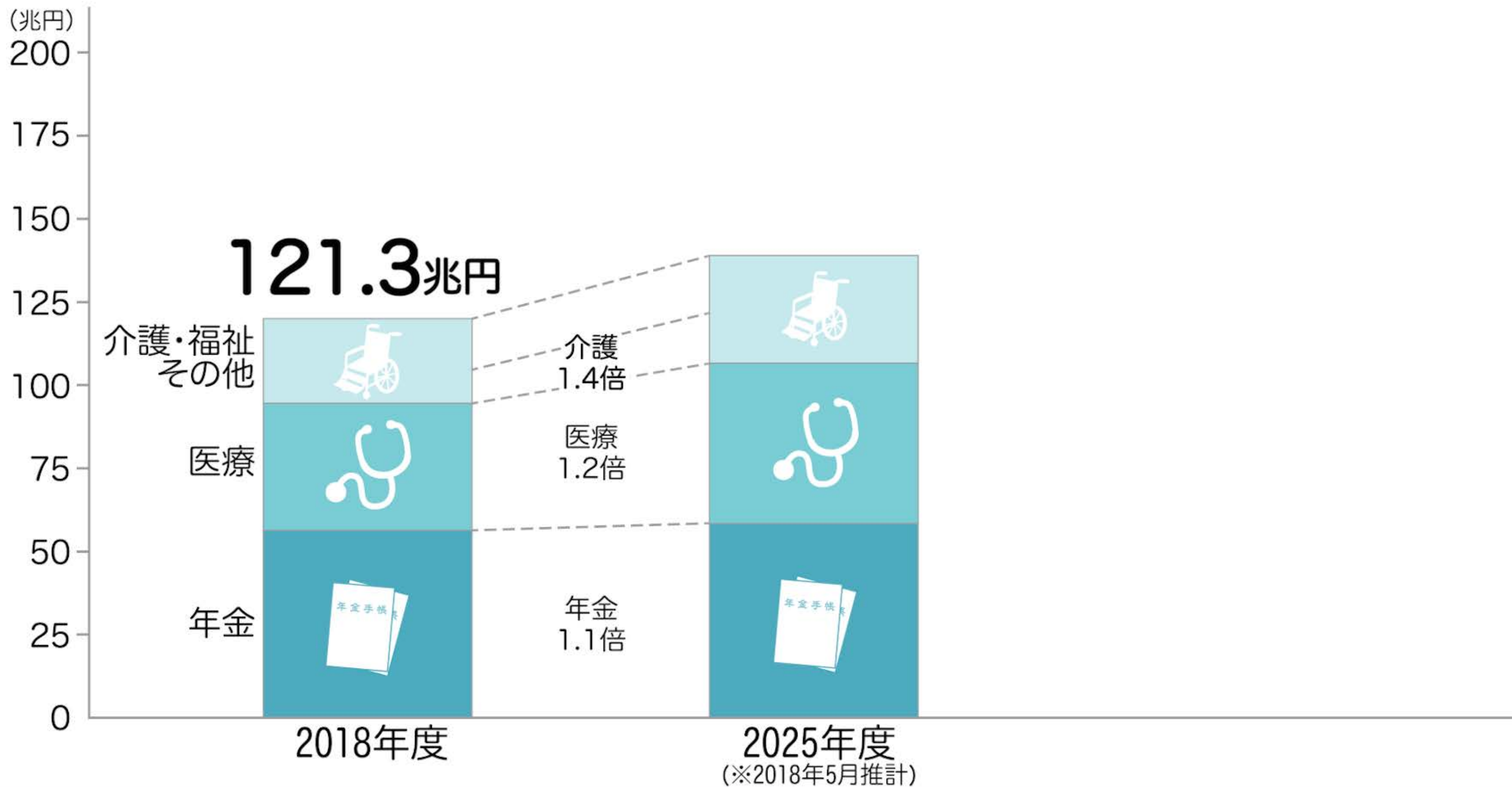
2018年度
日本の社会保障給付費 **121.3兆円**



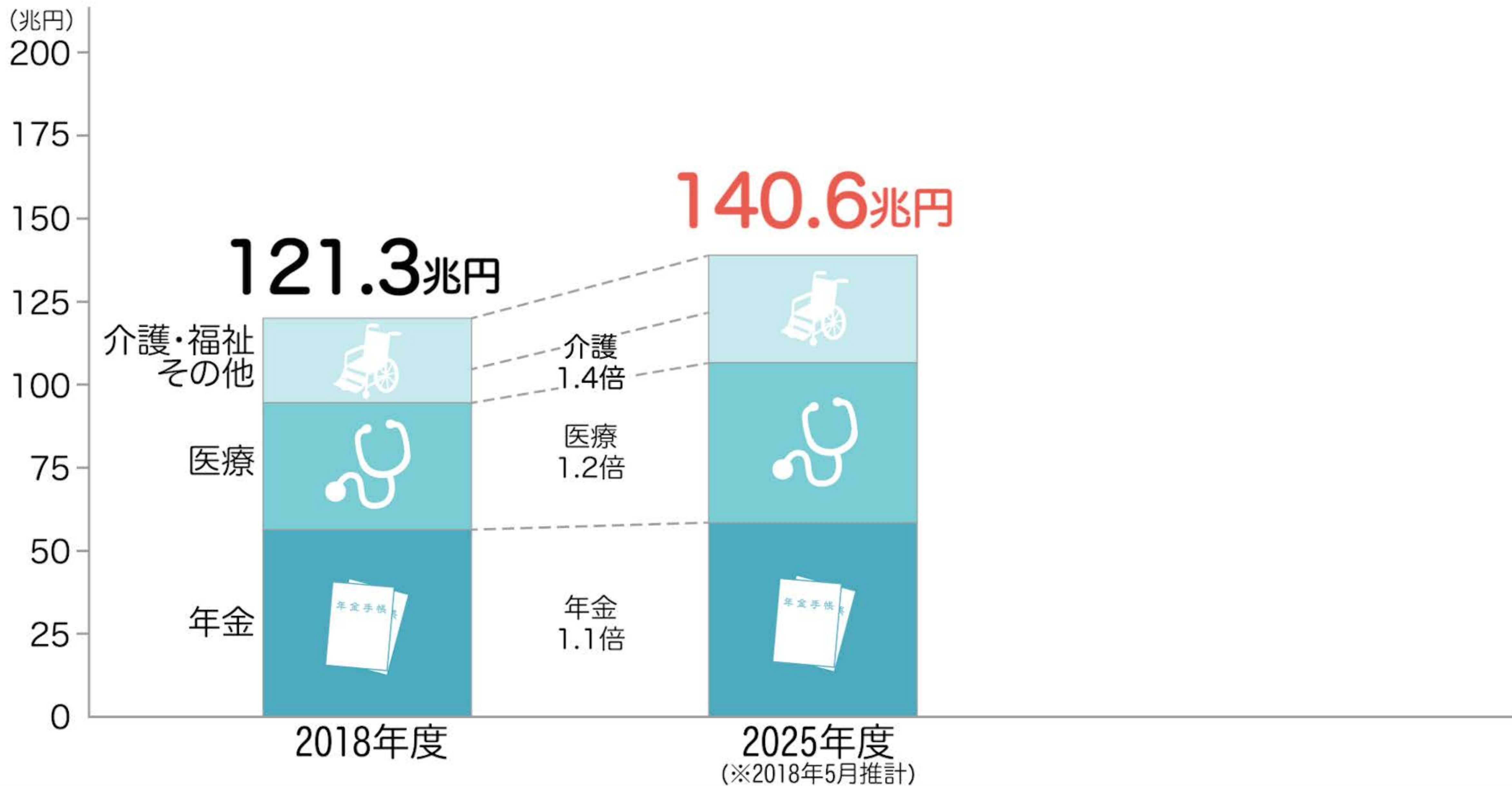
介護・福祉その他25.3兆円となっています。



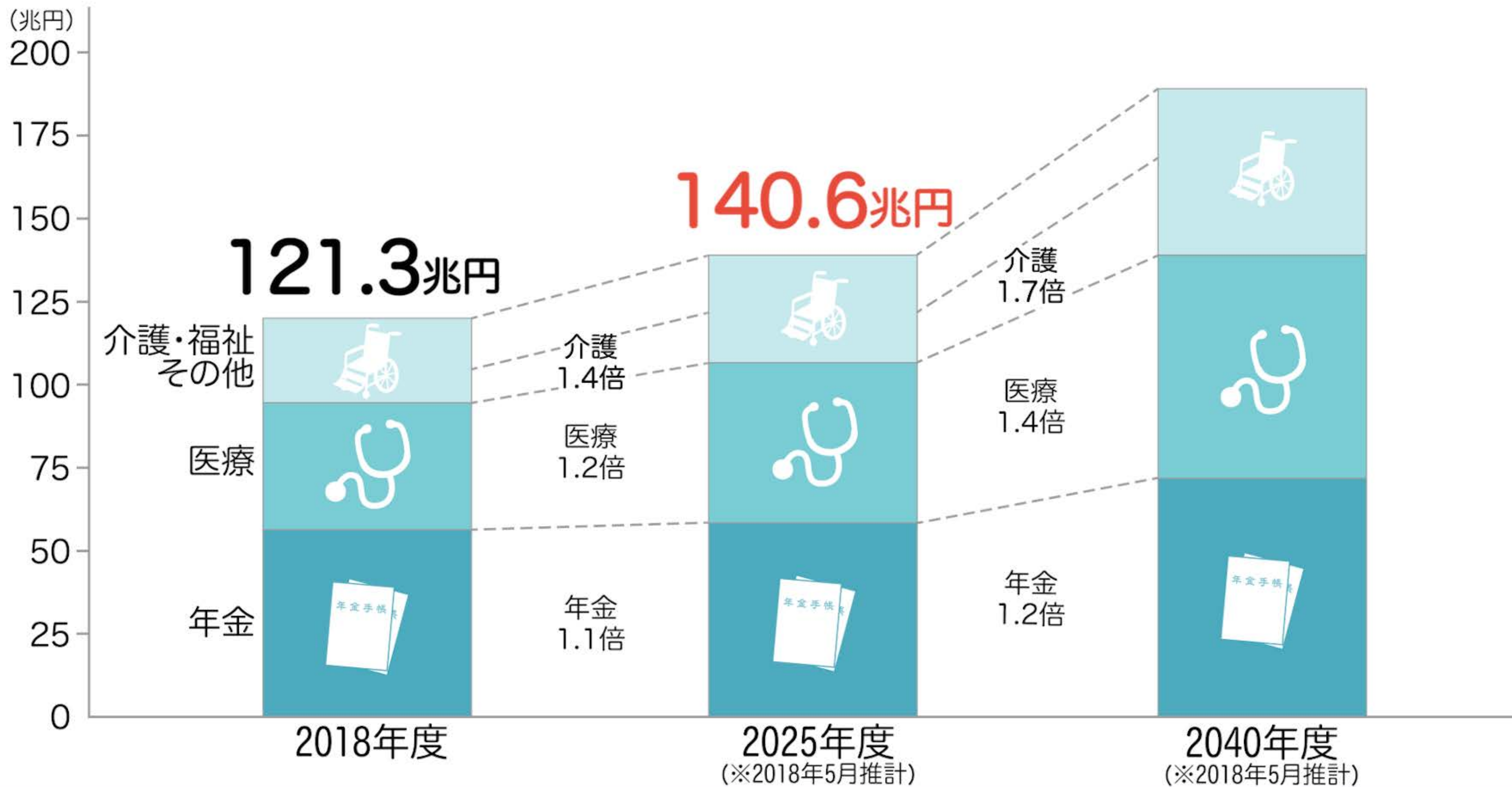
高齢化が進むことに伴い、今後も社会保障の給付は、



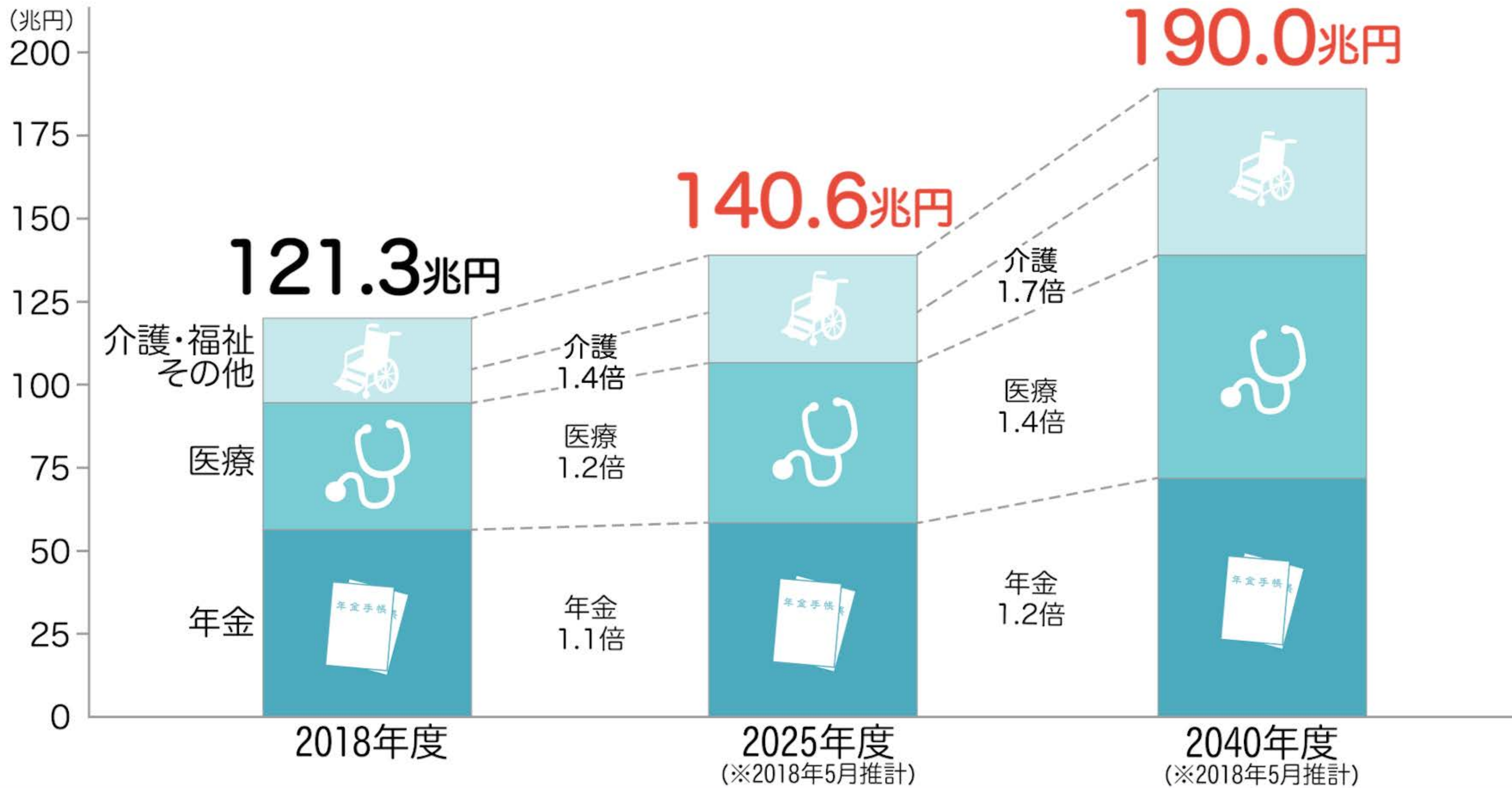
大幅に増えることが見込まれており、



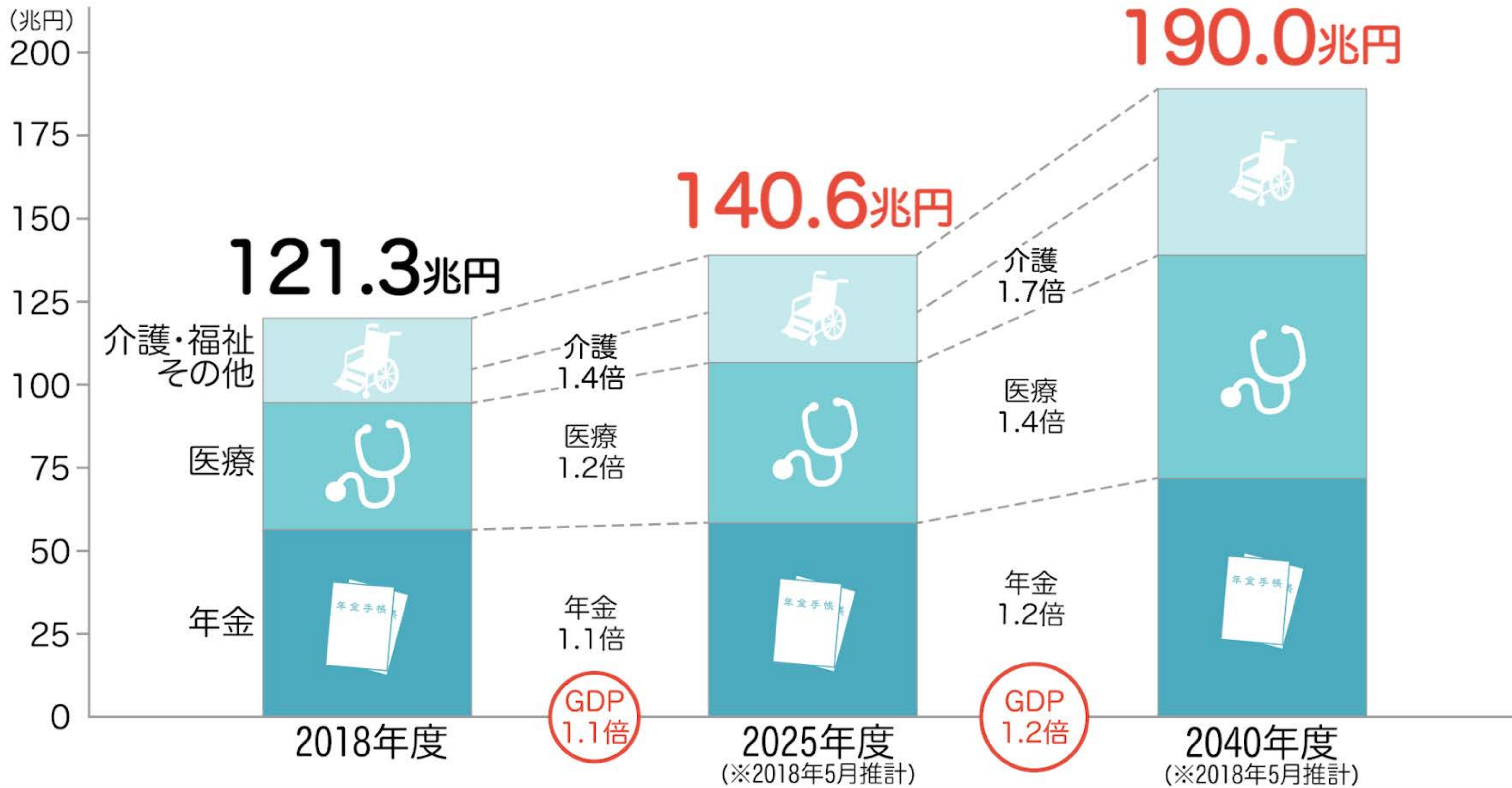
いわゆる「団塊の世代」が全員75歳以上となる2025年度には、140.6兆円、



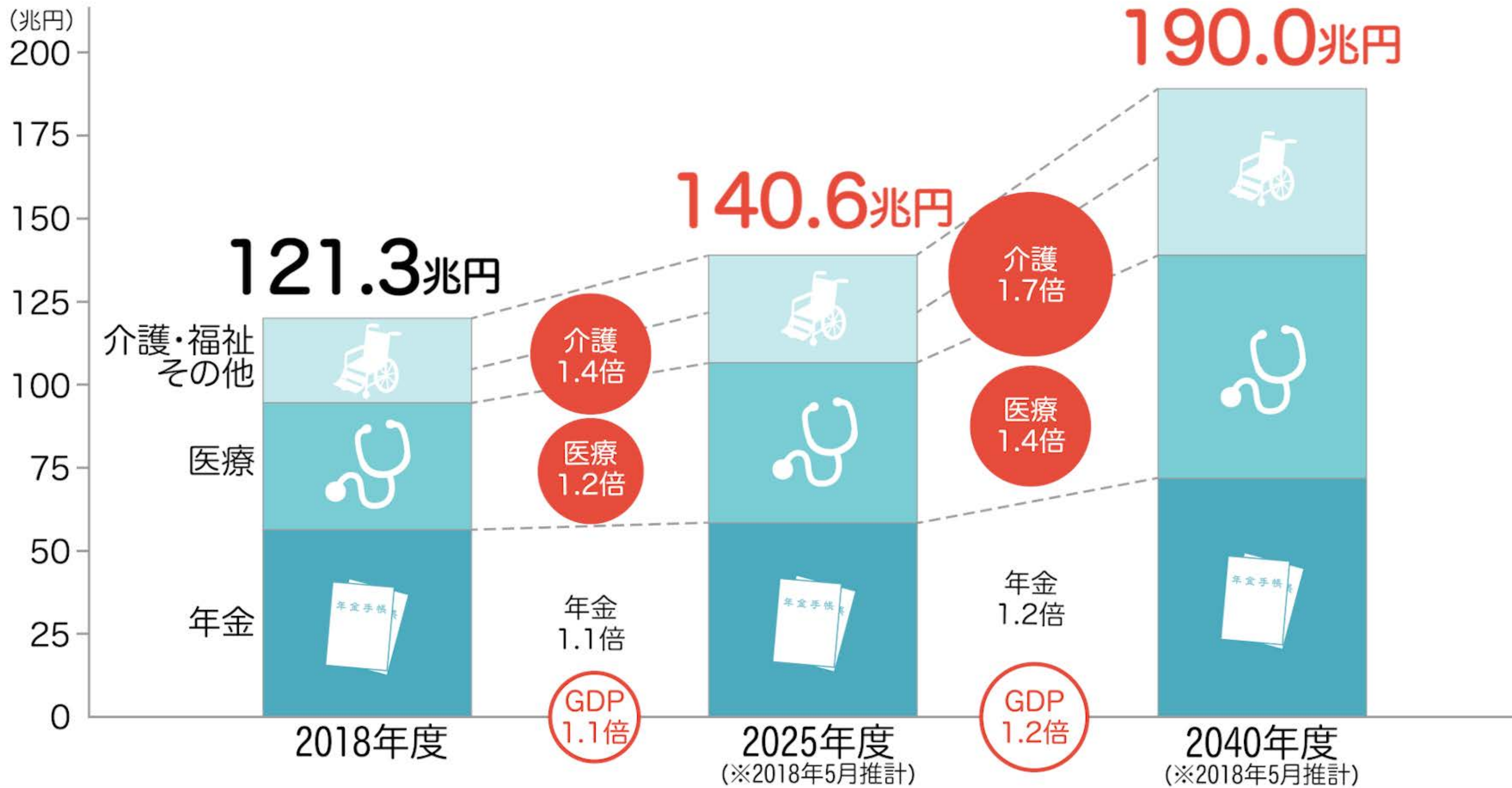
20歳～64歳の現役世代が大幅に減少する2040年度には



190.0兆円に上ると推計されています。



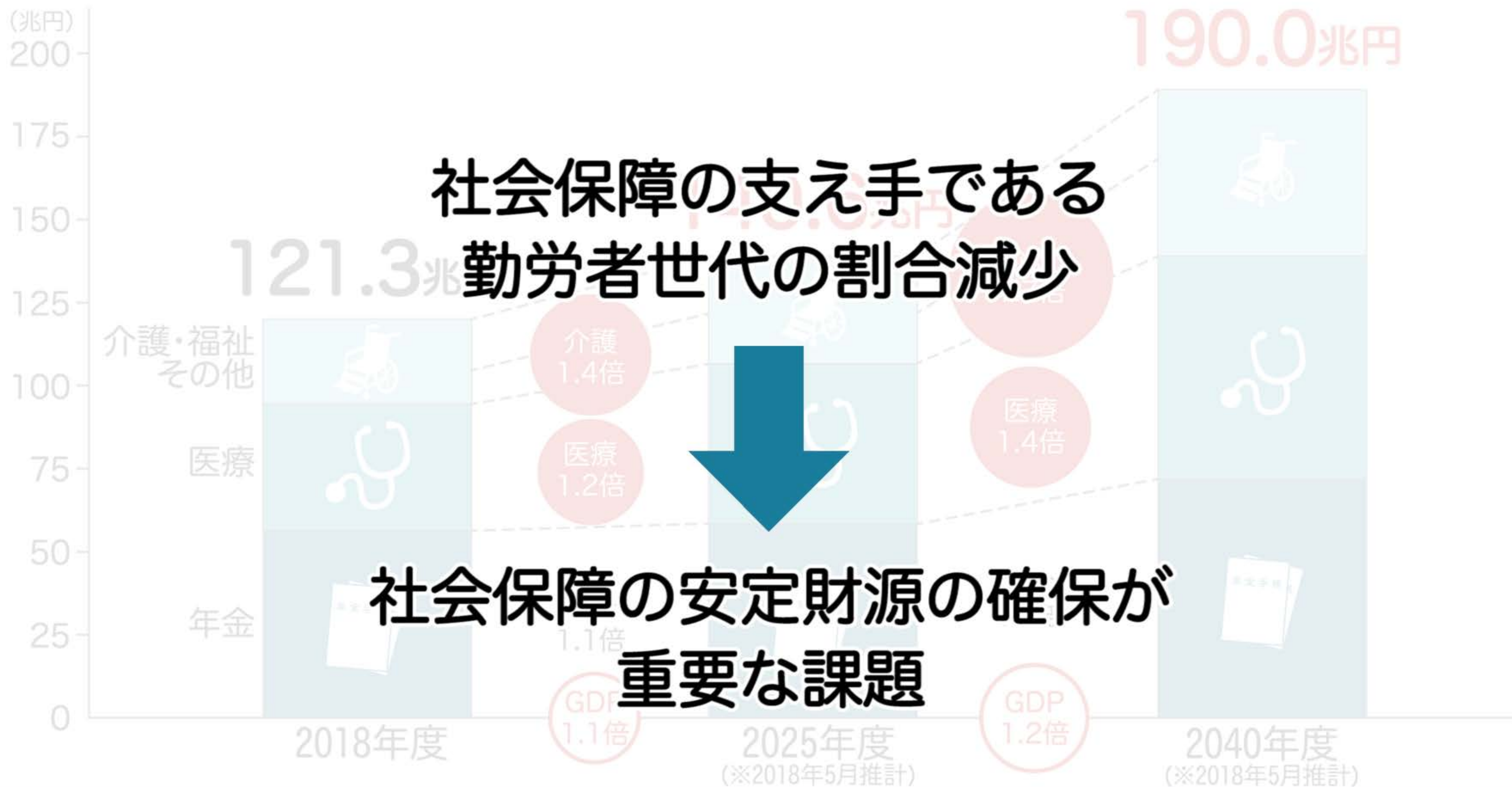
特に、医療・介護分野の給付はGDPの伸びを大きく上回って増加していきます。



特に、医療・介護分野の給付はGDPの伸びを大きく上回って増加していきます。



社会保障の支え手である勤労者世代の割合が減っていく中で、



社会保険の安定財源の確保が重要な課題となっています。